

フレンド & バレル 社 2024年度 豪州産トリュフのご紹介

はじめに

フレンド & バレル社は 全世界のトリュフ業界に最高の豪州産トリュフ (Tuber Melanosporum フランスのペリゴールド種) をトリュフ生産者たちと共に収穫時から等級分けに至るまで手掛けている他社にはまねのできない輸出業者です。ヨーロッパ アジア 北アメリカ市場において 当社は信頼のできる良質の世界水準をみたく豪州産冬のトリュフをお届けしています。

背景

豪州産トリュフの歴史はまだあまり古くはありません。1993年に最初のトリュフ菌を持った樫の原木がタスマニアに持ち込まれ 1999年にはじめて豪州産冬のトリュフが採集されました。それ以後豪州でのトリュフ生産が少しずつ著名度を増してきて現在では スペイン フランス イタリアにつぐ 第4番目のトリュフ収穫量を誇っています。

当社のトリュフの歴史は 1990年代後半に南フランスのトリュフ専門のプランタン社からフランスのトリュフを輸入した時から始まっています。当時はオーストラリア各地の気象環境や自然のままの土壌環境はトリュフ生産者たちのふさわしい環境だということでトリュフ生産への歩みが始まったのです。

西オーストラリアの南西に位置する森林地帯が現在の全豪州トリュフの約80%の生産をしています。しかしながら NSW州 ビクトリア州 タスマニア州 そして首都のあるキャンベラ付近のACT州でも毎年生産高を延ばすようになりました。当社の契約するトリュフ生産者たちはこれらの地域の中でも品質と環境を考慮し厳選しています。

近年では 豪州産トリュフは世界中の著名なシェフの皆様によって ヨーロッパの伝統的トリュフ生産地のトリュフと同じか負けない高品質のトリュフと認められています。

当社はこのようなトリュフの歴史の先駆けとなり豪州産トリュフの生産と販売のお手伝いをしていることを光栄だと思っています。ここ数年は各地の生産者たちと共に豪州産トリュフの名を辱めないように生産に関する知識 等級の仕分けの仕方を共有しながら国内 世界の市場に<高級品豪州産トリュフ>の開発と発展に力を入れています。

当社の契約している生産者

私たちのトリュフ生産者たちとのパートナーシップは信頼と知識の共有で生産方法の改良から品質均一化にむけますます高級な豪州産トリュフをお届けできるように目指しています。

FRIEND & BURRELL

THE WORLD'S FINEST FOODS

フレンド & バレル社は 生産者の皆さんの情熱と苦勞をわかちあい 環境を損なわず土壌内のトリュフ菌の成長を促すように知識研究を続けています。この先駆者としての注意深い考察はヨーロッパの長い歴史を学び ユニークなオーストラリアの特性を活かしながら各地の生産者のみなさまといっしょに歩んでいます。

当社の取り扱う各生産地のトリュフは 世界中の著名なシェフの皆様から認められておりフレンド & バレル社の豪州産トリュフとブランド名にまで認識をいただけるようになりました。

トリュフ 等級分け

当社のトリュフ等級分けは厳密な正確さを用いています。通常の視覚 香りの審査方法のみならず最高の品質と規格統一性のトリュフを選ぶために一つ一つ触覚検査を加えています。その後お客様のご注文に応じご指定どおり注意深く梱包して世界中に送ります。

サイモン フレンドは 「トリュフの親善大使」として 20年間にわたる知識と経験をいかして最高のトリュフを選別しお届けします。

配送の専門知識

当社ではこのように万全の注意を払って選んだ香り高いトリュフをいち早くお客様にお届けできるよう輸送の手配にも長い経験を持っています。梱包 出荷前の保冷輸送期間中の温度管理を含めてトリュフ本来の香りとう味覚を保てるように努力しています。

植物検疫 輸出検疫

フレンド & バレル社は 輸出書類 受け取る国の入国時の植物検疫も熟知しています。

ヨーロッパ アジア 北アメリカなど向け先地ごと それぞれの通関書類をご用意します。

私たちのモットー

当社のトリュフビジネスは 以前 著名なシェフの方が話していた 「もし私が10個のトリュフを注文したら 9個ではなく 10個完全なトリュフを送ってほしい」に基づいています。

フレンド & バレル トリュフ生産者 プロフィール

Wylie Creek Truffles

生産者 : ワイリークリーク NSW州
標高 : 750 メートル
親木 : フレンチ櫟 (Quercus ilex)
親木数 : 2800本
トリュフ生産準備開始 : 2016年
トリュフ生産開始 : 2018年

ワイリークリーク トリュフ林はNSW州 北ニューイングランド地方の景色の美しい花崗岩帯大地に位置しています。シドニーから北へ約750KM ニューイングランド高原地の北はしに位置した涼しい場所です。

回りを囲む地形は花崗岩の岩が豊富で 砂岩と粘土質の混ざった土壌でトリュフの繁殖に適しています。

花崗岩帯大地はNSW州でも亜熱帯の高現地で冬には大変寒くなる地形です。オーストラリア内では農業を行う最高の標高と言われています。同地ではぶどう りんご 果実なども作られトリュフの栽培にも適しています。冬には夜間の霜がおりトリュフ採集の時には指がかじかんでしまうほどです。高原地ですのではっきりした4つの季節に分かれています。

冬の極寒の砂岩の混じった土壌で年間を通じた降雨量があるのでとても香りの高いアロマを醸し出すトリュフです。

このワイリークリークのトリュフ生産者は キムとシャーロツテ ブリアリー夫妻で 農業経験が深く毎年のトリュフ収穫期にはよいトリュフを届けてくれます。

Oak Valley Truffles

生産地 : グレノーラン 西オーストラリア
標高 : 201 メートル
親木 : 英国櫟 (Quercus robur) と ヘーゼルナッツ (Corylus avellana)
親木数 : 36,500本
生産開始年 : 2006年

生産開始年は2006年。オークバレートリュフは 偶然にパースのコーヒーショップで出会った3人の男たちから始まりました。オーストラリア クリケットのもと選手 ワーリー エドワーズ、ドクター ニック マラジェスカ (CSIRO 政府の研究機関で菌研究者) ジェフ バレット (企業投資を専門にする弁護士で現在のオークバレートリュフの常務取締役) の3人です。

現在 オークバレートリュフはオーストラリア最大級の生産者です。西オーストラリア パースから南へ約300kmのマンジマのはずれに127ヘクタールの美しい場所にあります。そのうちトリュフのための林は75ヘクタールで 櫟の木とヘーゼルナッツの林です。オークバレーの土地はバニングス 兄弟のカリヤジャラなどの木の材木加工地でした。実に素晴らしい環境にある豊かなローム土壌で 理想的な砂 沈泥 粘土が混ざり合い 水はけのよさと同時に保湿性にも富んでいるので土壌内の通気性を保ちながら栄養分にも富んでいます。

マンジマは地中海性気候冷たく湿気の多い冬と高温で乾燥した夏の気候です。年間降雨量(約1000ミリリットル)に加え6か所からわく天然な地下水がダムに蓄えられますので十分な水量を持つトリュフ生産地です。

ラブラドール ケルピー ジャーマン短毛ポインター たちハンタードッグがオークバレーのトリュフ採集シーズン期間中 活躍してくれます。18匹のハンタードッグは 1匹の犬ハンタードッグの取り扱い者 トリュフ採集者 2人と1匹がチームで採集に従事します。

トリュフ採集シーズンは 6月から8月まで休みはありません。木々の間のあぜは148KM 木々は各々4m離れていますので 毎週各チームは16km 歩きます。2023年のトリュフシーズンには 犬たちは14トンのトリュフを見つけたので重労働の価値がありました。 シーズンが終わると犬たちはそれぞれ ホストの家族に引き取られ のんびりしています。またシーズンがはじまると 重労働に加わります。

King Valley Truffles

生産地 : ウィットフィールド ビクトリア州
標高 : 450メートル
親木 : 英国櫟 (Quercus robur) と フランス櫟 (Quercus ilex)
親木数 : 1009本
生産開始年 : 2011年

キングバレー トリュフはビクトリア州の北東にあるキングバレー渓谷に由来しており豊かなワイン用ぶどう栽培や農業地区で中央にキングリバーが流れるワンガラッタの町とアルパイン国立公園の間に位置しています。

棚上に広がるいくつものキングバレーぶどう園の間にあるトリュフ農園はワイン用ぶどう研究者のジョンとヘレン ケイブドン夫妻と息子のジョニーがはじめました。ケイブドン家は北イタリアから移住した時 はじめはたばこの生産をしていました。

その後ジョンとヘレンはぶどう栽培にかわりました。最初のぶどうの木は1977年に飢えられました。30年たった今でもまだ 一部は手が付けられていません。

ヘレンが最初に霜の降りる丘 標高450mの地にトリュフが向いているのではないのかと気が付きました。400本のフランス櫟 英国櫟の苗を植えたのは2010年で5年後に初めてトリュフを採集することができました。ジョンとヘレンとジョニーが努力したので今ではその規模は2倍になり毎年トリュフの収穫量も増えてきています。その場所はアルカリ質の土壌と定期的に霜の降る場所をして選ばれました。

徐々に増やしていった櫟の木は今では1000本を越す成熟した林になりました。アルパイン渓谷はキングリバーの徐々にすすんだ浸食により傾斜と狭い渓谷が作られています。降水量は比較的十分にあり 特に冬場の数か月は南側の海から湿度の高い風が運ばれてくるのです。オーストラリアアルプスに位置しているのでキングバレーは冬には零下まで気温が下がりますが年間を通じてそのほかの時期には温暖な気候が続きます。

キングバレーの農業はほとんどワイン用ぶどう栽培です。涼しい気候と渓谷のこえた土壌はぶどう栽培にも適していますがトリュフ栽培にも適しているとわかりました。渓谷の標高の高さと地形はトリュフ栽培に適しており小石の多いことも水はけをよくして冬の霜の降りる時期と重なり土壌内の細菌の活性化を促しています。

トリュフは素晴らしく頭のいい2匹のコリー キイラとルカお父さんのオデインの率いるラブラドル犬家族によって嗅ぎ出されます。トリュフハンティングの季節はケイブドン一家にとって またサラミソーセージ作りにも忙しくしており ヘレンのホームメイドピザには トリュフも加わります。

Truffierre Archeologico

生産地 : キングストン ビクトリア州
標高 : 517メートル
親木 : 英国櫟 (Quercus robur) と フランス櫟 (Quercus ilex)
親木数 : 1150本
生産開始年 : 2015年

トラフィエール アーキオロジコはビクトリア州 キングストン グレートデイバイディングレンジ (東部に連なる山脈 大分水嶺山脈)のふもとにあり質の高いトリュフの生産宝庫地です。

ヘップバーン県 歴史的な金鉱の町として知られるセスノック町から10km離れており マセドン山脈の鉱泉のあるデイルスフォード町やヘップバーン市から約20km離れている場所にあります。ビクトリア州全域の中でも豊かな赤い旧火山灰の土壌と十分な降水量があるので最高の農業に適した場所です。

トラフィエール アーキオロジコの歴史は8年前にロバートとジェニファー プレストン夫妻が それまでに農業に携わったことがないのに キングストンでトリュフを生産しようという挑戦を試みたことから始まりました。ここでは周辺の農業におかされてない40年未開拓の土地でした。

万全の計画と事前調査を重ね最初のフランス櫟の植樹をしたのは2015年で翌年2番目の植樹をしました。木々の成長をみながら木の成長とトリュフの生産に最大効果を上げる研究をつづけました。ゆっくりと見守る中で **トラフィエール アーキオロジコ**は最初の貴重な収穫をわずか3年で達成しました。

トリュフハンティングの季節になるとロバートとジェニファーはラゴット ロマグノロス種の2匹の犬 エンゾーとレオナードの比類ない忠誠心とアロマを嗅ぎ出す能力を頼りにします。13歳と2歳の2匹はロバートとジェニファーといっしょになってフランス櫟の根元の地面の中のトリュフを香りを鋭敏に嗅ぎ出し採集を手伝います。

トラフィエール アーキオロジコではトリュフの味にこだわり最高の味覚をお届けしようとしています。親木となる木々の世話を怠らず注意深くトリュフを掘り出す努力を重ねているので他に例のないトリュフをお届けできるでしょう。

Clear Range Truffles

生産地 : クリアレンジ NSW州
標高 : 738メートル
親木 : 英国櫟 (Quercus robur) と フランス櫟 (Quercus ilex)
親木数 : 800本
生産開始年 : 2013年

クリアレンジトリュフは首都キャンベラの南へ50km ACTオーストラリア(首都特別地域)に位置しています。すばらしいナマジ国立公園に近く古くはオーストラリアの原住民グンナワル民族の土地でした。オーストラリア アルプスの一部で 山がちで未開発地 標高が高い地形です。山々の横にはマランビッジ川がながれこの地方の地形を形成しています。

海拔が高くスノーイーマウンティンにも近いので気候は涼しく安定しているのでトリュフを栽培するには適しています。夏の間は暖かく冬はとても寒くときには雪の降ることもあります。

トリュフ生産から採集まで 持ち主のマークとモーリーン ジラデロ夫妻と6歳のケルピー 彼女はオーストラリア軍隊で爆薬物発見のための犬として臭覚を鍛えられました。

のアンバーで行います。臭覚の特別訓練されたアンバーは 新しい仕事のトリュフハンター犬として 櫟の木の下の中地に隠れて芳香をかもすトリュフを見つけ出す技能に優れています。

クリアレンジトリュフはマークとモーリーの主旨で品質の良いトリュフに必要なので人工的な薬品や殺虫剤などを用いていません。

Turralla Truffles

生産地 : ブンジェンドア NSW州

標高 : 695メートル

親木 : 英国櫟 (Quercus robur) と ヘーゼルナッツ (Corylus avellana)
フランス櫟 (Quercus ilex)

親木数 : 2000本

生産開始年 : 2005年

トウララトリュフはNSW州南高原の古風で趣のあるブンジェンドア村の中にあります。この地区は古くは先住民のンガリゴ民族の土地でなだらかな丘陵と肥沃な溪谷に囲まれています。

ブンジェンドア地方はトリュフの宝庫とみなされておりその理由は2つの大切な要因があるからです。それは はっきり分かれた四季の温度変化と冬の霜降り(平均60%霜が降りる)という要因と十分な降雨量という要因です。

この環境に加えトリュフの成長を促す土壌環境肥沃な粘土地質と水はけをよくする小石の混ざった土質も大事です。デーミアン ロビンソンの指導のもと 奥様のリンゼイと熱心に働く犬たちがいます。とても勘のいい主導権を持ったジャックラッセルのフリスビーの率いるハンタードッグチームがいるのでトウララトリュフはめざましく躍進しています。トリュフのシーズンは6月中旬から8月の終わりごろまで続き 7月は最盛期です。

L'Air Du Wombat Truffles

生産地 : オアレン NSW州
標高 : 587メートル
親木 : 英国櫟 (Quercus robur) と フランス櫟 (Quercus ilex)
親木数 : 900本
生産開始年 : 2007年

レアデュ ウオンバット トリュフ は NSW州南高原 ショアルハイブン川の町オアレンに位置しており古くは先住民 グンツングラとングナワルが住んでいました。NSW州の海岸沿いジェービス湾から80kmであるとともに首都キャンベラからも100kmちょっとの距離があります。

オアレンはなだらかな丘と高原に囲まれトリュフ生産に適した局所気候 (日中は暖かく夜は涼しい)と土壤環境に恵まれています。土壤は砂岩に粘土が混ざり水はけがよくアルカリ性にとんでいます。

レアデュ ウオンバット はトリッシャとレイナー クワスト夫妻が設立し 4匹の犬たちは8歳のオーストラリア ケルピーのバリーを先頭にここ6年のシーズン中まるで軍隊のように活躍しています。

ロクシー (別名金鉱ほり) ニュージーランド ハンタウェイ種犬は控えめですが人々との交流がうまく時にはバリーの見つけたトリュフをあたかも自分が見つけたようにふるまっでご褒美をもらいたがるくせがあります。ケルピーのジェージェー は4歳ですがかなり見つけるのがうまくなりましたが気を付けないと時々腐ったトリュフを見つけたりするのでまだ注意が必要です。4番目のケルピー 一番新しいタッカーはまだチームの一員として慣れるのに苦労しているところです。

これらのトリュフハンター犬たちのほかに 3頭のクライデセール種の馬 ニワトリ ホロホロ鳥 山羊の群れ 1頭のアルパカ 45歳の高齢なポニー (Miniture Galloway streer) 一匹の3歳になる豚 (名前はトリュフ) が住んでいます。豚のトリュフはバナナ チップスを好んでいますが トリュフハントには役に立ちません。まだしばらく準備の期間が必要なようです。

Blackwood Park Truffles

生産地 : モールクリーク タスマニア州
標高 : 253メートル
親木 : 英国櫟 (Quercus robur) と フランス櫟 (Quercus ilex)
親木数 : 2000本
生産開始年 : 2007年

ブラックウッドパーク トリュフ (旧 ウェスターン ティア トリュフ) はシェーンとユーコ アリエル夫妻が携わっています。自然のままの平原 森 小川が流れているブラックウッドパークは タスマニア島の北部中央のミーンダー渓谷の中央のモールクリークにあります。この地域は風光明媚として有名でウェスターン ティアーズ山脈とクレードル山ーセント クレア湖国立公園に位置しています。

ブラックウッドパークの粘土性の土壌は数億年前の花崗岩からなりアルカリ性に富む水かけのよい土壌です。

気温は涼しく冬は霜が降り時には雪も降る土地で降水量も十分なのでトリュフの生産地としてうってつけです。

シェーンとユーコは大勢の人たち特に若い人たちとトリュフの生産やハンティングを楽しんでもらうことを喜んでいますが、これは自閉症の子供たちの学校も含め地元の学校の生徒たちとトリュフを見つけたり掘り出したりする作業をすることです。シェーンとユーコ一家はこのような体験で生徒たちが自然とふれあい環境を保護することを、学んで伝える先駆者になってほしいと願っています。

トリュフハンティングを体験することで生徒たちは楽しみながら自分たちを取り囲む自然界を大事にし土の中に育つトリュフ通して生物のこと足元の自然界のエコシステムを学んでくれるでしょう。

シェーンとユーコの農場には6歳のイングリッシュ スプリンガー スパニエル、マッカがいます。マッカはタスマニア島と南極の間のマクウオーリー島から来ました。マッカの両親はマクウオーリー島の自然を犯す動物を駆除するために持ち込まれた犬たちでマッカの冒険好きな性格はそのために身に着いたものでしょう。マッカの優れた嗅覚はマクウオーリー島からブラックウッドパークにと引き継がれました。

シェーンとユーコは継続的でオーガニックな経営方針を持っています。無農薬 害虫や害獣を防ぐための餌や毒は使わず必要なものがあればブラックウッドパークから近隣10分の場所からとれたものを使用しています。

Oak Hill Truffles

生産地 : ゴードン ビクトリア州
標高 : 592メートル
親木 : 英国櫟 (Quercus robur) と フランス櫟 (Quercus ilex)
親木数 : 1000本
生産開始年 : 2007年

以前は酪農農業に従事していたイアン と メリリン ウッドハウス夫妻はメルボルンから北西へ95kmビクトリア州中央高原のパッドッククリークの丘のふもとのゴードンに **オークヒルトリュフ**を2007年にはじめました。ゴードンは1800年代後半には金鉱開発熱で沸き返り繁栄しており その後も石英の発掘 木材加工や農業(畜産とじゃがいも)を営んできましたがいまではチャーミングで静かな村となりました。

2007年に 500本のフレンチ櫟(ホリーオークまたはホルムオークとしても知られています)と500本の英国櫟 あわせて1000本の櫟の苗木を植え 2012年には最初の少量なトリュフの採集をしました。オークヒルトリュフは息子のショーンも加わり13年目のシーズンを迎えます。

その間たくさんのチャレンジ 虫との闘いや近隣の町の山火事の危機にさらされてきました。

風味の高い複雑な味わいのある黒トリュフの生産者として高い評判があるオークヒルトリュフは国内および海外の 特にロンドンと東京のシェフの皆さんから好評をいただいています。

アルカリ性とミネラルに富んだ土壌 清く寒い山の空気 年間降雨量692mmと温暖な気候のゴードンはトリュフ栽培にうってつけの土地柄です。夏の間は暖かく 雨がちで曇りの日が多く一方冬は短く寒く多くの霜が降りる日が続きます。

ゴードンの住民達は昔からの草木をパッドッククリーク保護地から選び出して柵創りをし近隣の地に野生の動物たちの通り道を作っています。保護地はカンガルー ワラビー コアラ などの動物の生息地でありカワセミや ワライカワセミなどのオーストラリア特有の鳥たちも数多くみられます。

残念なことにトリュフ犬として活躍していたラブラドルのサリーがつい先ごろ亡くなりました。サリーは前の持ち主によって危害を加えられていた救助犬でしたがとても頭がよくウッドハウス家に来てからはじめてトリュフハンティングの犬として訓練されましたが完熟したトリュフを見つけ出すのに長けていました。この仕事はラブラドルのペギーに譲られこれからのハンター犬チームを率いることでしょう。

Nangiyala Truffiere

生産地 : クリークジャンクション Victoria州
標高 : 600メートル
親木 : 英国櫟 (Quercus robur) と フランス櫟 (Quercus ilex)
親木数 : 415本
生産開始年 : 2007年

ナンギヤラ トリュフは ビクトリア州のオーストラリア大分水嶺山脈の一部 ストラズボギーレンジの balan 産のふもとの48エーカーに位置しています。

ここは70年代中期からマコーネル家の土地の一部にあります。“ナンギヤラ”は家族の中心であったデービッドの父親が脳卒中で倒れた後 デービッドはこの地をなにか特別な目的に使用しようと考へてたところ エイジにあった新聞記事にトリュフが載っていたので興味を抱いたところから始まります。

クリークジャンクションは何百年もまえに溶岩が流れ出し冷えて固まった花崗岩で独特で頑丈な土質で知られています。長い年月をかけ花崗岩は砂の混じった水はけのよい土壌にかわりました。

この土質をトリュフ栽培にふさわしくなるようにデービッドと妻のケイトは時間をかけて石灰や栄養分や消し炭を加えアルカリ性の土質に変えました。この注意深い土質改良で土壌の酸素保有率を上げトリュフ菌が活性化しやすい土質になったためもちろん良質のトリュフが作られるようになりました。

局地的気候はなつに暖かく冬に寒いトリュフ栽培にふさわしい環境です。高地にあるためこの気候は冬の間継続して寒く年間降雨量も800から1000mm多く見られます。

デービッドは街の男だったのに“偶然”農夫になったと話します。たぶんこれは 1930年代に家庭用に変えられた バセンジ種 アフリカ コンゴの狩猟犬をトリュフハンティングに選んだことにも匹敵するでしょう。バセンジ種は 2つの性格を持つとされており 1つは狩猟犬として小さな動物を追いかけること 2つ目はヨーデル吠え声を出すことです。

バセンジ種の犬の特性からデービッドは この犬をトリュフハンティングに使うなんてアホだと言われていました。しかしながらデービッドは誇らしげにオードリーがトリュフの香りを見つけて櫟の木の根元を探しだすとご褒美にチーズをもらうのを喜ぶと話します。たぶん バセンジ種の世界で初めてのトリュフハンティング犬でしょう。